

環境の杜ふれあいの指定管理候補者の選定結果について

那覇市・南風原町環境施設組合の管理する環境の杜ふれあいについては、下記のとおり指定管理予定候補者を選定したので、その結果を公表します。

なお、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項により議会の議決を経る必要があり、令和 8 年 10 月議会の議決を経た後に正式に指定することになります。

1. 施設概要

- (1) 名 称 環境の杜ふれあい
- (2) 所 在 地 南風原町字新川 588 番地
- (3) 設置目的

那覇市・南風原クリーンセンターの設置に係る地域還元施設として、スポーツ・レクリエーション活動等の普及及び振興を図り、並びに地域コミュニティー及び環境学習等の発信拠点とするため、環境の杜ふれあいを設置する。

2. 指定管理予定候補者

- (1) 名 称 環境の杜 F D R パートナース
 - 代表構成員 株式会社フォスタ
 - 構成員 株式会社沖縄ダイケン
 - 構成員 一般社団法人沖縄リサイクル運動市民の会
- (2) 代表者名 株式会社フォスタ 代表取締役 呉屋 智仁
- (3) 住 所 添市伊祖四丁目 21 番 11 号

3. 指定期間 令和 9 年 4 月 1 日～令和 14 年 3 月 31 日

4. 選定の経緯

(1) 公募

- ア 募 集 期 間 令和 8 年 7 月 8 日～令和 8 年 9 月 8 日
- イ 申請団体数 1 団体

(2) 審査方法

ア 選定委員会

- a 選定機関の名称 環境の杜ふれあい運営審議会

b 選定委員会の委員

- 会 長 石川 公彦 沖縄大学副学長
- 副会長 岩田 進司 岩田税理士事務所所長
- 委 員 名幸 芳徳 一般社団法人沖縄レクリエーション協会事務局長
- 赤嶺 和子 南風原町廃棄物減量等推進審議会委員
- 南 信乃介 特定非営利活動法人 1 万人井戸端会議代表理事

イ 選定委員会日時及び概要

- 第 1 回：令和 8 年 9 月 9 日（水）10:00～12:00
- 第 2 回：令和 8 年 9 月 18 日（金）13:30～16:30

ウ 選定基準

- a 事業計画書の内容が利用者の平等な利用を確保できるものであること。
- b 事業計画書の内容が地域利用の促進等、還元施設としての設置目的に沿った運営が行われるものであるとともに、サービスの向上が図られるものであること。
- c 事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、能力を有するか又は確保できる見込みがあること。
- d 事業計画書の内容が環境の杜の効用を最大限に発揮するものであるとともに、管理経費の縮減が図られるものであること。
- e 利用者の声が反映される管理が行われる見込みがあること。

エ 選定方法

- a 委員ごとに指定管理者選定基準表（採点表）に示す項目ごとに採点し、その合計点が高い順に順位をつける。そして、順位を第1位とした委員の数が最も多い団体を指定管理予定候補者に選定する。また、順位を第1位とした委員の数が次に多い団体を次点候補者に選定する。
- b 上記（a）において、順位を第1位とした委員の数が同数の団体が2者以上ある場合は、当該団体の順位を第2位とした委員の数が最も多い団体を指定管理予定候補者とする。
- c 上記（b）において、順位を第2位とした委員の数が同数の団体が2者以上ある場合は、当該団体の順位を第1位とした委員の当該団体に係る採点の合計点が最も高い団体を指定管理予定候補者とする。
- d 公募結果として応募が1団体の場合は、各委員の合意でもって指定管理予定候補者とする。
- e 上記（a）から（e）にかかわらず、委員全員の採点の合計点が基準点（基準割合）に満たない場合は選外とする。

(3) 選定結果

選定基準に基づき審議した結果、下記の応募団体を指定管理予定候補者として選定した。

順位	応募団体名称	評価点
1	環境の杜FDRパートナーズ	802

- ・評価方法は、各審議会委員200点満点で採点を行い、1,000点満点で採点。
- ・指定管理候補者の推薦は、全委員の採点の合計点数が6割以上（600点以上）を合格基準とした。

5. 審議会の意見等

- ・施設内で環境学習を常時行えるよう、大きなパネルや道具、書籍等を設置してはどうか。
- ・環境の杜の広報紙を近隣住民だけではなく、那覇市や南風原町の広域へ周知してはどうか。
- ・収支計画で基本事業が赤字、自主事業が黒字となっており、合計して黒字計上ではあるが、本来、事業としては基本事業の部分も収支ゼロか黒字の計画を経てるべきではないか。
- ・設置目的及び位置づけに関することも前提として事業計画されている印象を持った。周辺地域自治会との対話の場が、随時開かれているという様子も感じる事ができた。
- ・自主事業が多様になされている中で、正職員5名体制でパート、アルバイトの管理を行い、事業運営しており、業務量との関係で職員の負担が気になった。
- ・自主事業の新たな取り組みとして提案されているが、民間の施設利用状況を調査してから検討しても良かったのではないかと。利用状況に応じて、今後は検討会などを開いて臨機応変に組み替えても良い。